

事務事業評価表（平成26年度）

事業コード	1812	課コード	0403	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 ■経常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	空き店舗活用補助事業	実施計画への位置づけ	○有 ○無	②部課名	環境経済部・商業観光課			
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	□我孫子 □天王台 ■湖北 ■新木 ■布佐 □全市					
	⑤事業期間	平成23年度 ~		⑥担当職員数	2人 (換算人数)	0.1人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	10,442千円	当該(開始)年度	(当初) 12,296千円 (うち人件費 930千円)	(変更後) 千円 (うち人件費 千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	21101	重点プロジェクトへの位置づけ	重点2	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無	部門別計画への位置づけ	(計画名)	我孫子市商業活性化ビジョン
(2) 目的	施策目的・展開方向	地域に密着した商業の活性化を図るため、個店の専門性の強化や我孫子市ふるさと商品の開発などによる特色ある商店づくりや、買い物しやすい環境づくりなど、事業者が市民、農業者などのさまざまな主体と連携しながら、消費者ニーズにあった新たな商業展開が行えるよう支援します。また、我孫子の観光資源をいか			事業目的	市の東部（湖北・新木・布佐地区）に目立つ空き店舗への出店を促し、商業の活性化および地元住民の買い物利便性の向上を図る。				
(3) 事業内容	内容	空き店舗の利用促進及び賑わいづくりのため、指定地区（我孫子ビジョショッピングセンター、久寺家通り商店会、天王台商店会、天王台北口商店会、天王台仲町商店会、湖北中央商店会、湖北台仲通商店会、湖北台南口商店会、一番街商店会、我孫子市商工会湖北地区会、あらか商店会、布佐商興会）に出店した事業者に対して、店舗賃借料の一部を補助する。 ○補助金額（平成26年度より改正） ・店舗開店のための改修費の2分の1（上限40万円） ・賃借料の2分の1（交付決定を受けてから1年）			当該年度執行計画	制度の利用促進（＝空き店舗の解消）に向けてPRを行う。				
		当該年度活動結果指標	補助金の交付件数（＝空き店舗への出店件数）	単位	件	想定値	10	実績値		
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該(開始)年度	指定区域の空き店舗への出店を促し、地域住民の買い物環境の向上を図る。			直接	補助金の申請件数（＝空き店舗への出店件数）		件	8	10	
3年後	指定区域の空き店舗への出店を促し、地域住民の買い物環境の向上を図る。			直接	制度を利用して出店した後、営業を継続している延べ店舗数		件	0	10	
最終(概ね5年後)	指定区域の空き店舗への出店を促し、地域住民の買い物環境の向上を図る。			直接	制度を利用して出店した後、営業を継続している延べ店舗数		件	0	20	
(7) 事業実施上の課題と対応				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		空き店舗活用補助金		9,878	空き店舗活用補助金		8,166	空き店舗活用補助金		8,166
					店舗開店のための改修費補助金		3,200	店舗開店のための改修費補助金		3,200
					400,000円×8件			400,000円×8件		
予算(済)額	合計	9,878	合計	11,366	合計	11,366	合計	11,366		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	
	一般財源		9,878		11,366		11,366		11,366	
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.1		0.1		0.06		0.06	
	正職員人件費		930		930		558		558	
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0	
	臨時職員賃金額		0		0		0		0	
事業費(予算(済)額+正職員人件費)		10,808		12,296		11,924		11,924		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		1,080.8千円/件		1,229.6千円/件						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	指定区域は、空き店舗が目立ち、商店の立地がまばらになっているなど、地域住民のニーズに応えられる商業環境が整っていない状況にある。そのため、空き店舗への出店を促し、地域住民の買い物環境の充実および商業の活性化を図る必要がある。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫		参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容	
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 補助事業であり、市民の参加や協働にそぐわない						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(件)	目標値(b)(件)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)		○①目標値達成 ○②目標値未達成	
	8	10	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(件)	(f/b)×100		<目標を達成した理由/未達成となった原因>	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について		○要 ○不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 ■⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100		○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>				○要 ○不要
(3) 目標値を実現するために投じた事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>
	0.02	単位 費用単位 件	○①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ●②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100			

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					